

【バードライフ・インターナショナル】

絶滅の危機に瀕した鳥たちを 再び空へ！



FIFAワールドカップや2016年オリンピックに向けて今、ホットなブラジルは、生物多様性でもホットスポット(生物多様性が高いにもかかわらず、危機に瀕している地域)であり、鳥類の種類は1800種以上と世界で最も鳥が多い国といわれています。リオのサンバのようにカラフルな鳥たちの生息するブラジルですが、近年では170種が絶滅の危機に瀕しています。アマゾンなどの森林破壊などによる生息地の消失のほか、愛鳥としてペットにするための違法な密猟が大きな問題となっており、オウムやコンゴウインコなど、年間約3万5000羽もの鳥が、密猟されています。

バードライフは、ブラジルのパートナー団体「セイブ・ブラジル」とともに、違法に捕獲された鳥たちを救済するプログラム「フライト・プラン」を立ち上げ、保護活動を行っています。現地の救済

センターでは、密猟などで傷ついた鳥を手当し、野生復帰のためのトレーニングを行ったあと、生息地の森へと放鳥します。また、鳥の種ごとに適した生息地を調査する活動も行っています。

現地の救済センターには、ルリコンゴウインコ、キエリボウシインコ、オニオオハシなどの絶滅が危惧される種をはじめ、たくさんの鳥たちがもう一度自然の中で生きられる日を待っています。バードライフは、一羽でも多くの鳥を救済するため、一歩ずつ活動を進めています。



ルリコンゴウインコ ©Ciro Albano

バードライフ・インターナショナル

イギリス ケンブリッジに本部を持つ国際環境NGO。

世界120か国のパートナー団体と約280万人のメンバーとともに、

鳥類を指標にして環境保全に取り組む。

高円宮妃久子殿下が名誉総裁を務める。